

学期	単元	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	世界はうつくし いと	1 詩を音読する。 2 詩を読み深める。 3 詩の特徴を生かして朗読する。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)イ)		進んで語感を磨き、友達 の考えや今までの学習 を生かして詩の解釈や 朗読をしようとしている。	授業観察 ノート、提出 物 定期考査	1
	握手 漢字に親しもう 1	1 作品を通読する。 2 作品の設定を捉える。(課題 1) 3 登場人物の心情や人物像を 読み取る。 4 読み深めた感想を交流す る。(課題3) 5 学習を振り返る。 6 P28「漢字に親しもう1」の新 出漢字を確認する。 7 練習問題に取り組む。	理解したり表現したりす るために必要な語句の 量を増し、話や文章の中 で使うことを通して、語 感を磨き語彙を豊かにし ている。 ((1)イ) 第2学年までに学習した 常用漢字に加え、その 他の常用漢字の大体を 読んでいます。また、学 年別漢字配当表に示され ている漢字について、文 や文章の中で使い慣れ ている。 ((1)ア)	・「読むこと」において、 文章の種類を踏まえて、 物語の展開のしかたな どを捉えている。(C(1) ア) ・「読むこと」において、 文章を批判的に読みな がら、文章に表れている ものの見方や考え方に ついて考えている。 (C(1)イ)	物語の展開のしかたを 粘り強く捉え、今までの 学習を生かして読み深 めた感想を交流しようと している。 学習課題に沿って、積極 的に漢字を読んだり書い たりしようとしている。	授業観察 ノート、提出 物 定期考査	4
	[聞く] 意見を聞き、適 切さを判断する	1 坂本さんのスピーチの練習 を聞く。 2 スピーチをよりよくするた めの助言を考える。 3 学習を振り返る。	情報の信頼性の確かめ 方を理解して使っている。 ((2)イ) →根拠としている情報に ついて、事実関係や裏 づけなどに注意して聞い ている。	「話すこと・聞くこと」に おいて、目的や場面に 応じて、社会生活の中 から話題を決め、多様な 考えを想定しながら材料 を整理し、伝え合う内容 を検討している。 (A(1)ア) →多様な立場から予想 される反論について考 えながら、意見と根拠、 その結び付きを明確に している。	聞き取った内容や意見と 根拠の適切さを進んで 評価し、今までの学習 を生かして助言を考えよ うとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	文法への扉1 「走って」いるの は誰？ 文法1 文法を 生かす	1 教材文を読み、文法的な観 点から表現を見直すこと の意義を確認する。 2 P230「文法1 文法を生 かす」を読む。	単語の活用、助詞や助 動詞などの働き、文の 成分の順序や照応など 文の構成について理解 している。 (2年(1)オ)		助詞や助動詞の働きな どを進んで振り返り、 今までの学習を生かして 練習問題に取り組もう としている。	授業観察 ノート、提出 物 定期考査	1
	説得力のある 構成を考えよう スピーチで心を 動かす	1 話題を決め、情報を集める。 2 話の構成を考える。 3 スピーチの会を開く。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	情報の信頼性の確かめ 方を理解して使っている。 ((2)イ)	・「話すこと・聞くこと」 において、自分の立場 や考えを明確にし、相 手を説得できるように論 理の展開などを考えて、 話の構成を工夫してい る。 (A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」 において、場の状況に 応じて言葉を選ぶなど、 自分の考えがわかりや すく伝えるように表現 を工夫している。 (A(1)ウ)	相手を説得できるように 粘り強く論理の展開な どを考えて話の構成を 工夫し、学習の見通し をもって自分の考えを 伝えようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	3
	言葉1 相手や場に応 じた言葉遣い	1 導入の例を読み、相手や場 に応じた言葉遣いにつ いて関心をもつ。 2 相手や場に応じた言葉遣 いについて理解する。 3 相手や場に応じた表現に ついて理解する。 4 学習を振り返る。	敬語などの相手や場 に応じた言葉遣いを理 解し、適切に使ってい る。 ((1)エ)		相手や場に応じた言葉 遣いや表現の選び方 について進んで理解し、 今までの学習を生か して練習問題に取 組もうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	学びて時に之 を習ふ ——「論語」か ら 漢文の訓読	1「論語」について知る。 2「論語」を読み、孔子の考 え方を読み取る。 3 日常生活を振り返り、孔 子の言葉が当てはま ると思われ る体験を伝え合う。 4 学習を振り返る。	・歴史的背景などに注 意して古典を読むこと を通して、その世界に 親しんでいる。 ((3)ア) ・長く親しまれている 言葉や古典の一節を 引用するなどして使 っている。 ((3)イ)	「読むこと」において、 文章を読んで考えを 広げたり深めたりして、 人間、社会、自然など について、自分の意 見をもっている。 (C(1)エ)	人間、社会、自然など について積極的に自 分の意見を持ち、今 までの学習を生か して考えを伝え 合おうとしている。	授業観察 ノート、提出 物 定期考査	2
	季節のしおり 春	・春の気象にまつわる言葉 や、春の情景を詠んだ 俳句や和歌、漢詩を 味わい、伝統的な 言語文化に親しむ。	理解したり表現したり するために必要な語 句の量を増し、語感 を磨き語彙を豊かに している。		伝統的な言語文化に 関するこれまでの学 習を生かして、積極 的に語感を磨き、言 語文化を大切に しようとしている。	授業観察 ノート、提出 物 定期考査	—

前期	作られた「物語」を超えて	1 全文を通読する。 2 論理の展開を捉える。 3 筆者の主張を捉える。(課題2) 4 筆者の主張について考え、文章にまとめる。(課題3) 5 学習を振り返る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)	進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	3
	思考のレッスン 具体化・抽象化	2 P53の教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解する。 3 学習を振り返る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)		具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組みようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	論理の展開を意識して書く グラフを基に小論文を書く	1 課題に沿って材料を集める。 2 構成や内容を考える。 3 小論文を書く。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 -「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	4
	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう2	1 P58導入の例から、漢字二字の熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを知る。 2 教材文を読み、さまざまな熟語の読み方について理解する。 3 練習問題に取り組む。 4 P60「漢字に親しもう2」の問題に取り組む	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	俳句の可能性 [書く]俳句の創作教室 俳句を味わう	1 俳句の特徴を確認する。 2 筆者の評価のしかたを捉える。(課題2) 3 好きな俳句を選び、鑑賞文を書く。 4 学習を振り返る。 5 P68「俳句の創作教室」に取り組む。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) -「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。(B(1)ウ)	進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	4
	言葉の釣り糸を垂らす	1 全文を通読する。 2 題名の意味を捉える。(課題1) 3 筆者のものの見方や考え方について考える。 4 文章を読んでよいと思ったところを話し合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)	筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2
	言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに時代や世代による言葉の変化	1 P72導入の例を基に、和語・漢語・外来語の表現を比較し、受ける印象の違いについて考える。 2 教材文を読み、和語・漢語・外来語・混種語について理解する。 3 言葉の変化について知る。 4 相手に合わせて、言葉を選ぶ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ)		進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1

	1 P76「やってみよう」①に取り組む。 2 P77「やってみよう」②に取り組む。 3 P78-81の報道文 A・Bを通読し、P82「やってみよう」に取り組む。 4 学習を振り返る。	・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ)	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	情報の信頼性の確かめ方を積極的に使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2
情報整理のレッスン 情報の信頼性	1 P84の教材文を通読し、問題1に取り組む。 2 P85の教材文を通読し、問題2に取り組む。 3 学習を振り返る。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ)		積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
読書を楽しむ	1 さまざまな読書の楽しみ方について知る。 2 「私の一冊」の紹介、「ブックレビュー」、「三年間の読書の振り返り」の中から、夏休みに行う活動を選ぶ。 3 教材文に示されている各活動の内容に沿って、今後の見通しを立てる。 4 活動を行い、レポートか活動報告書を提出する。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)		進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
前期 「私の一冊」を探しに いこう 羊と鋼の森 読書案内 本 の世界を広げ よう コラム ためになるって どんなこと?	1 本文を読み、本のさまざまな探し方について知る。 2 学校図書館やインターネットを活用するなど、探し方を工夫して、興味がもてそうな本を探す。 3 見つけた本を夏休みなどを利用して読む。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
季節のしおり 夏	・夏の気象にまつわる言葉や、夏の情景を詠んだ俳句や和歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	-
挨拶 ——原爆の写 真によせて	1 作品を通読し、当時の時代背景について確認する。 2 「顔」が象徴しているものを捉える。(課題1) 3 表現の効果を評価する。 4 自分の意見を述べる。(課題3) 5 学習を振り返る。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	2
故郷	1 作品を通読し、作品の設定を捉える。 2 場面や登場人物の設定に着目して読み深める。 3 読み深めたことを基に、作品を批評する。 4 学習を振り返る。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	5

前期	[推敲]論理の展開を整える	1 P120上段の文章を通読したうえで、語句・表現や叙述のしかたを見直し、文章を整える。 2 目的や読み手に合わせて、表現や論理の展開を整える。 3 読み手からの助言を踏まえて、確かめる。 4 学習を振り返る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	・「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ) ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2
	言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	1 導入の例のような、一まとまりで決まった意味をもつ言葉をできるだけたくさん書き出す。 2 教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。 3 学習を振り返る。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)		慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1 対談の準備をする。 2 対談を行う。 3 学習を振り返る。	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ)	・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)	話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	漢字2 漢字の造語力	1 導入の文章を読み、新しい言葉が考え出された経緯を知る。 2 教材文を読み、「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。 3 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
後期	複数の意見を 読んで、考えよう ——正解が一つに決まらない 課題と向き合う	1 3人の筆者の提言を通読する。 2 文章の要旨を捉える。(課題1) 3 文章を比較して評価する。 4 グループで討論し、提言に対する評価を基に、自分の考えをまとめる。 5 学習を振り返る。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方にについて考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)	三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	3
	考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	1 題材を選ぶ。 2 観点を決めて分析する。 3 構成を考える。 4 批評文を書く。 5 友達と文章を読み合う。 6 学習を振り返る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見直しをもって批評文を書こうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	5
	漢字に親しもう 3 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ 文法2 文法のまとめ	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。 3 P141「文法への扉2」を読み、「ない」の文法上の違いを理解する。 4 P233「文法2 文法のまとめ」にある文法の問題に取り組む。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) 単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。(1年(1)エ、2年(1)オ)		今までに学習した知識を生かして、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1

後期	聴きひたる 初恋	1 朗読音声を感じ、言葉の響きやリズムを味わう。 2 語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)イ)		進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	季節のしおり 秋	・秋の気象にまつわる言葉や、秋の情景を詠んだ和歌や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)イ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	-
	和歌の世界 首読を楽しむ 古今和歌集 仮名序	1 P146「和歌の世界」を読む。 2 P148「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ((3)ア)		進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	君待つと ——万葉・古今・新古今	1 歴史的背景を捉える。(課題1) 2 和歌の表現について話し合う。 3 表現のしかたについて評価する。(課題3) 4 学習を振り返る。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ((3)イ)	読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。 (C(1)ウ)	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	2
	夏草 ——「おくのほそ道」から	1 作品を声に出して読む。(課題1) 2 芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 3 心に響く俳句について発表する。(課題3) 4 学習を振り返る。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ((3)イ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 (C(1)イ)	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	3
	つながる古典 古典名作選 [書く]古典の言葉 を引用し、 メッセージを贈ろう	1 P166「つながる古典」を通読する。 2 P168「古典名作選」を朗読する。 3 古典の言葉を引用し、メッセージを贈る。 4 文章を友達と読み合い、学習を振り返る。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ((3)イ)	「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 (B(1)イ)	長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したりメッセージを書いたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	それでも、言葉を	1 本文を通読し、言葉に対する筆者の考えを捉える。 2 筆者の見方・考え方に対する理解を深める。(課題2) 3 言葉との向き合い方について自分の意見をもつ。(課題3) 4 学習を振り返る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2)ア)	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 (C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 (C(1)エ)	言葉や社会、人間などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。	授業観察 ワークシート	4
	漢字3 漢字の まとめ 漢字に親しもう 4	1 二年生までに学習した漢字を復習する。 2 三年生で学習した漢字を復習する。 3 P182「漢字に親しもう4」の問題に取り組む。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れ		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	[話し合い(進行)] 話し合いを効果的に進めよう	2 進行役の発言の効果を考える。 3 学習を振り返る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 (A(1)オ)	積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	季節のしおり 冬	冬の気象にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ俳句や詩、名文を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)イ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	-

後期	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	1 議題を決める。 2 グループで提案を考える。 3 全体会議を開く。 4 合意形成のポイントを振り返る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)	合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	4
	本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界を広げよう	1 教科書本文を読み、筆者の生き方について自分の考えをもつ。 2 P198「本の世界を広げよう」を読み、読んだ本や、興味をもった本について語り合う。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	温かいスープ	1 時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 2 筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 3 国際性について自分の考えをもち、伝え合う。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	人間、社会などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2
	アラスカとの出会い	1 全文を通読する。 2 筆者の生き方や考え方を読み取る。 3 筆者の生き方や考え方について話し合う。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	人間、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2
	律儀な桜	1 全文を通読する。 2 人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	人間、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	わたしを束ねないで	1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 2 作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	1 冊子のテーマを決める。 2 冊子の内容と構成を考える。 3 冊子を作る。 4 グループで発表会を開く。 5 学習を振り返る。	話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ)	「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	5
	初日 漢字に親しもう 5	1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 2 詩の中の言葉や表現から、描かれた情景や心情を捉え、その内容について話し合う。 3 P226「漢字に親しもう5」の練習問題に取り組む。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値について考えをまとめようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2

後期	国語の力試し	1 P243-246の問題に取り組む。 2 P242の二次元コードから、発展問題に取り組む。 3 振り返る。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア)	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物
評価の重み付け		33%	33%	33%		
観点別評価規準		A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……………達成率80%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……………達成率50%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……………達成率50%未満				
評価の基準		5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも……………90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの……………80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの……………50%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの……………20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの……………20%未満の達成率である場合				

学期	単元	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	[考えよう]手書きのよさって、何だろう	1 教科書P88-89の漫画を読み、手書き文字のよさについて考え、話し合う。	手書き文字のよさを理解している。	手書き文字のよさについて考えている。	積極的に(①)漫画を読んで手書き文字のよさについて考え(③)、学習の見通しをもって(②)手書き文字のよさについて話し合おうとしている(④)。	授業観察 作品 ワークシート	1
	全国文字マップ	1 教科書P90-93の写真を見て、身の回りにはさまざまな文字があることを理解し、それぞれの文字から受ける印象や気づいたことを話し合う。 2 自分の身の回りにある文字を探して、特徴や印象に残っていることを発表し合う。	身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。	身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。	積極的に(①)身の回りの文字を探し(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている(④)。	授業観察 作品 ワークシート	2
	文字の使い分け	1 教科書P94の新聞に使われている活字の書体とその理由を考えて、空欄に書き込む。 2 活字にはさまざまな書体があることを理解する。 3 明朝体・ゴシック体・手書き文字の「永」と、それぞれの特徴を線で結ぶ。 4 「学びのカギ」を見て、明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を確かめる。 5 案内文や発表用資料など、身の回りの文字の使い分けを探して発表し合う。 【学習活動の応用例】 ○ 教科書P86「職業ガイドを作ろう」やP108「冊子にまとめよう」などを参考に、目的に応じて文字を効果的に使い分け、新聞や冊子を作成する。	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。	目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。	積極的に(①)明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し(③)、学習課題に沿って(②)身の回りの文字の使い分けについて発表しようとしている(④)。	授業観察 作品 ワークシート	1
	[コラム]ユニバーサルデザインフォントって何だろう	1 教科書P96の時計に使われているユニバーサルデザインフォントとゴシック体を比べて、気づいたことをグループで話し合う。 2 「デザインの特徴」を見て、ユニバーサルデザインフォントは、より多くの人が情報を正確に読み取れるようにデザインされた文字であることを理解する。 3 身近なユニバーサルデザインフォントの使用例を調べて発表し合うとともに、どんな場面でユニバーサルデザインフォントが使われているのか話し合う。	見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザインフォントを知り、文字文化の豊かさへの理解を深めている。	ゴシック体との比較や身近なユニバーサルデザインフォントの使用例を探することを通して、文字文化の豊かさを確かめている。	積極的に(①)身近なユニバーサルデザインフォントの使用例を探し(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字について発表しようとしている(④)。	授業観察 作品 ワークシート	1
	[総合]防災フェスタを開こう	1 防災フェスタのテーマや内容を考え、話し合ってから内容を整理する。 2 ポスターや展示物など、必要なものの構成を考える。 3 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書に調和する仮名/行書と仮名の調和/楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)に気をつけて、ポスターや展示物などを作る。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	ポスターや展示物などを作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)ポスターや展示物などを作ろうとしている(④)。	授業観察 作品 ワークシート	2
後期	三年間のまとめ	1 教科書P100-101の「学びのカギ」を一覧し、3年間で学習したことを振り返る。 2 「自然」「輝ける未来」を書くときに生かせることを話し合い、自分の課題を考える。 3 自分の課題を確かめながら、毛筆で「自然」「輝ける未来」を書く。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	毛筆で「自然」「輝ける未来」を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に(①)3年間で習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めた課題に沿って「自然」「輝ける未来」を書こうとしている(④)。	授業観察 作品 ワークシート	2

後期	[コラム]自分らしい文字	1 教科書P104-105を見て、著名人の手書き文字(名前)のさまざまな書きぶりを味わう。 2 それぞれの手書き文字(名前)から受ける印象について、グループで話し合う。 3 未来の自分をイメージし、それに合った書きぶりを考えて名前を書く。	手書き文字は書き手によって異なり、人柄や個性が表れることを理解している。	グループで話し合う活動のなかで、著名人の手書き文字から受ける印象を考えている。	積極的に①著名人の手書き文字から受ける印象について考え③、今までの学習を生かして②未来の自分をイメージして名前を書こうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	1
	[国語]季節のしおり③	1 季節にまつわる詩歌を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書に調和する仮名/行書と仮名の調和/楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)に注意して、季節の言葉を硬筆でなぞる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②季節の言葉をなぞろうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	1
	[国語]冊子にまとめよう	1 印象に残った本やその感想を多くの人に伝えるために、冊子にまとめる内容を整理する。 2 冊子の構成を考える。 3 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書に調和する仮名/行書と仮名の調和/楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)に注意して、冊子を作る。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②印象に残った本やその感想を伝える冊子を作ろうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	適宜
	書く道具が生まれる	1 教科書P140の写真を見て、筆・墨・硯・紙・鉛筆の伝統的な作り方を調べる。 2 理解したことや感じたことを友達と交流し、書写学習や文字文化への関心を高める。	筆・墨・硯・紙・鉛筆の作り方を理解している。		進んで①筆・墨・硯・紙・鉛筆の材料や作り方を理解し③、学習の見通しをもって②、理解したことや感じたことを交流しようとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	適宜
	[発展]なりきり、書聖・王羲之	1 「蘭亭序」を鑑賞し、これまでに学習してきた漢字が、先人の優れた筆跡を基礎として発展してきたものであることを理解する。 2 教科書の「永和九年……」を鉛筆でなぞる。	高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解している。		積極的に①先人の筆跡に関心をもち③、学習の見通しをもって②「蘭亭序」をなぞろうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	適宜
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別評価規準		A: 教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上 B: 教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満 C: 教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満					
評価の基準		5: 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも……90%以上の達成率である場合 4: 十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3: おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合 2: 努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1: 一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合					

第9学年 数学科 年間授業計画

月		章	時数	節
4	前期 (8時間)	1 章 文字式を使って説明しよう	8	〈とびら〉 いちばん早くゴールするのは？
		[多項式]		1 節 多項式の計算
		19 時間		
5			6	2 節 因数分解
			4	3 節 式の計算の利用
			1	章の問題 A
			—	章の問題 B
		2 章 数の世界をさらにひろげよう	6	〈とびら〉 面積が 2cm^2 の正方形は？
6		[平方根]		1 節 平方根
		16 時間	8	2 節 根号をふくむ式の計算
			1	3 節 平方根の利用
			1	章の問題 A
			—	章の問題 B
		3 章 方程式を利用して問題を解決しよう	10	〈とびら〉 ロープで囲んだときの面積は？
		[2次方程式]		1 節 2次方程式とその解き方
7		15 時間		
			4	2 節 2次方程式の利用
9			1	章の問題 A
			—	章の問題 B
		4 章 関数の世界をひろげよう	3	〈とびら〉 ジェットコースターの速さは？
		[関数 $y=ax^2$]		1 節 関数 $y=ax^2$
		17 時間		p.96 ★他教科関連(理科)
			8	2 節 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方
10			5	3 節 いろいろな関数の利用
				p.115 ★他教科関連(保健体育)
			—	〈数学×渋滞学研究者〉
			1	章の問題 A
			—	章の問題 B

				p.1264 ★他教科関連(家庭)
		5 章 形に着目して図形の性質を調べよう	9	〈とびら〉 どのように拡大されるのかな？
	後 期 (72 時間)	[相似な図形]		1 節 相似な図形
11		23 時間	8	2 節 平行線と比
			5	3 節 相似な図形の面積と体積
			—	〈数学×3D アートクリエイター〉
			1	章の問題 A
			—	章の問題 B
				p.1665 ★他教科関連(家庭)
		6 章 円の性質を見つけて証明しよう	6	〈とびら〉 どこから撮ったのかな？
12		[円]		1 節 円周角の定理
		10 時間	3	2 節 円周角の定理の利用
			1	章の問題 A
			—	章の問題 B
		7 章 三平方の定理を活用しよう	4	〈とびら〉 3つの正方形の関係は？
		[三平方の定理]		1 節 三平方の定理
1		13 時間	8	2 節 三平方の定理の利用
			1	章の問題 A
			—	章の問題 B
			p.2106 ★他教科関連(理科)	
	8 章 集団全体の傾向を推測しよう	5	〈とびら〉 どのような調査があるかな？	
	[標本調査]		1 節 標本調査	
2	6 時間			
		1	章の問題 A	
		—	章の問題 B	
3	予備時間	<u>7</u>		
合計			<u>126</u>	

学期	単元	学習の内容	評価規準	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法	時数
前期	Unit 1 What is special about Japanese pop culture?	【題材】日本のポップカルチャーについての理解を深め、日本文化が持つ魅力について考える。 【言語材料】現在完了形 SVOO(G=形容詞) SVOO(the動)	【知識】現在完了形(継続用法)を用いた文、SVOO(G=形容詞)、SVOO(the動)の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】現在完了形(継続用法)を用いた文、SVOO(G=形容詞)、SVOO(the動)の文の理解をもとに、継続や人の気持ちや状態の変化、人やものが私たちに伝えることについて伝え合う技能を身につけている。	【思】海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	【態】海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	授業観察 提出物 単元テスト スピーキングテスト	21
	Unit 2 How do you choose your clothes?	【題材】エシカルファッションの取り入れを通して、人や環境にやさしい社会の実現について考える。 【言語材料】現在完了形(完了用法、継続用法) 現在完了進行形 現在完了形、現在完了進行形 【言語材料】現在完了形(完了用法、完了継続用法) 現在完了進行形	【知識】現在完了形(完了・継続用法)、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】現在完了形(完了・継続用法)、現在完了進行形を用いた文の理解をもとに、今の状況や観ている状態や傾向についての伝達をたずね合う技能を身につけている。	【思】エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品を選択するためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	【態】エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品を選択するためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	授業観察 提出物 単元テスト スピーキングテスト	21
後期	Unit 3 How can we save animals?	【題材】保護のおそれのある動物について知り、自分たちができることを考える。 【言語材料】want+(人など)+to let (help)+(人など)+動詞の原形 It is ... (for+(人など))+to. let (help)+(人など)+動詞の原形	【知識】(It is ... (for+(人など))+to)の文、(want+(人など)+to)や(let (help)+(人など)+動詞の原形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】(It is ... (for+(人など))+to)の文、(want+(人など)+to)や(let (help)+(人など)+動詞の原形)を用いた文の理解をもとに、人にとって大切だと感じることや、人にしてほしいことなどについて伝え合う技能を身につけている。	【思】多くの人に保護のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと感じることに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。	【態】多くの人に保護のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと感じることに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書こうとしている。	授業観察 提出物 単元テスト スピーキングテスト	21
	Unit 4 How can we help each other in a disaster?	【題材】防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組みの意識を持つ。 【言語材料】関係疑問文、SVOO(what節) 過去分詞、現在分詞	【知識】関係疑問文とSVOO(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(I・R・SI・SP) 【技能】関係疑問文とSVOO(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解をもとに、何かを知っている伝えたり、事実や気持ちを話す技能を身につけている。(I・R・SI・SP)	【思】防災・安全への意識を高めるために、地域の 日としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(I・R・SI・SP・W)	【態】防災・安全への意識を高めるために、地域の 日としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(I・R・SI・SP・W)	授業観察 提出物 単元テスト スピーキングテスト	21
	Unit 5 What makes a good leader?	【題材】ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考える。 【言語材料】名詞を修飾する文(関係節) 関係代名詞who 関係代名詞that (which)(主格・目的格)	【知識】名詞を修飾する文と、関係代名詞who, that (which)(主格・目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解している。(I・R・SI・SP) 【技能】名詞を修飾する文と、関係代名詞who, that (which)(主格・目的格)を用いた文の理解をもとに、詳しい情報を集めて、どのような人か、どのようなものかを話す技能を身につけている。(I・R・SI・SP)	【思】理想のリーダーとはどのような人かを知るために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(I・R・SI・SP・W)	【態】理想のリーダーとはどのような人かを知るために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(I・R・SI・SP・W)	授業観察 提出物 単元テスト スピーキングテスト	21
	Unit 6 What does it mean to be a global citizen?	【題材】国をこえて助け合うことの大切さを知り、自分に何ができるのかを考える。 【言語材料】仮定法(I wish I could [had] ...) 仮定法(if+主語+were ...) 仮定法(if+主語+動詞の過去形 ...) 主語を説明する関係代名詞	【知識】仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(I・R・SI) 【技能】仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の理解をもとに、現実とは異なる願い事やできたいと思うことを伝え合う技能を身につけている。(I・R・SI)	【思】国をこえて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての地位について、事実や自分の思い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。(I・R・SI・SP・W)	【態】国をこえて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての地位について、事実や自分の思い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。(I・R・SI・SP・W)	授業観察 提出物 単元テスト スピーキングテスト	21
評価の重み付け 観点別評価規準			33%	33%	33%	A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満	21
評価の基準		5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも……90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合					

学期	単元	学習の内容	評価規準	評価方法	時数
前期	【地理分野】 第5節 関東地方 第6節 東北地方	①東北地方、東北地方について、その地域の特色や自然環境の関係を理解する。 ②人口、産業、交通などについて、特色ある発展の歴史や現在の状況を理解する。 ③東北地方、東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・東北地方の地理的・気候的・産業的・文化的な特色や、それと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。 ・地図や写真・動画などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地理的・気候的・産業的・文化的な特色について理解している。	・主体的に学習に取り組む態度 ・地域の広がりや他地域との結びつきなどに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に関心をもち、地域の特色や地域の課題を主体的に追究しようとしている。 ・東北地方を伝統的な祭りや工芸品など生活・文化の視点から、関心をもち主体的に追究している。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	第7節 北海道地方	①北海道地方について、その地域の特色や自然環境の関係を理解する。 ②人口、産業、交通などについて、特色ある発展の歴史や現在の状況を理解する。 ③北海道地方、北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・資料などから北海道地方の地理的・気候的・産業的・文化的な特色や、それと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。 ・地図や写真・動画などから、北海道地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、北海道地方の地理的・気候的・産業的・文化的な特色について理解している。	・主体的に学習に取り組む態度 ・地域の広がりや他地域との結びつきなどに着目しながら、北海道地方に暮らす人々の生活に関心をもち、地域の特色や地域の課題を主体的に追究しようとしている。 ・北海道地方を伝統的な祭りや工芸品など生活・文化の視点から、関心をもち主体的に追究している。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	第4部 地域の在り方 第1章 地域の在り方	①地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・地域の広がりや他地域との結びつきなどに着目しながら、地域の特色や地域の課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	【歴史分野】 第5章 開国と近代日本の歩み	①開国と近代日本の歩みについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・開国と近代日本の歩みについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・開国と近代日本の歩みについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	【歴史分野】 第6章 二度の世界大戦と日本	①二度の世界大戦と日本について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・二度の世界大戦と日本について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・二度の世界大戦と日本について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	7章 現代の日本と世界	①現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	【公民分野】 第1章 私たちの暮らしと現代社会	①私たちの暮らしと現代社会について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・私たちの暮らしと現代社会について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・私たちの暮らしと現代社会について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	第2章 個人を尊重する日本国憲法	①個人を尊重する日本国憲法について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・個人を尊重する日本国憲法について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・個人を尊重する日本国憲法について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	第3章 私たちの暮らしと民主政治	①私たちの暮らしと民主政治について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・私たちの暮らしと民主政治について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・私たちの暮らしと民主政治について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	第4章 私たちの暮らしと経済	①私たちの暮らしと経済について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・私たちの暮らしと経済について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・私たちの暮らしと経済について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
後期	第5章 安心して暮らせる社会	①安心して暮らせる社会について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・安心して暮らせる社会について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・安心して暮らせる社会について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	第6章 国際社会に生きる私たち	①国際社会に生きる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・国際社会に生きる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・国際社会に生きる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	終章 私たちが未来の社会を築く	①私たちが未来の社会を築くについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・私たちが未来の社会を築くについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究する。	・主体的に学習に取り組む態度 ・私たちが未来の社会を築くについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート
	評価の重み付け		33%	33%	33%
観点別評価規準			A: 教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上 B: 教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満 C: 教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満		
評価の基準			5: 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも……90%以上の達成率である場合 4: 十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3: おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合 2: 努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1: 一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合		

学期	単元	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	単元1 化学変化とイオン	- 水に電流が流れるのはどのような条件か調べる。 - 電解質の水溶液に電流が流れるとき、水溶液の中ではどのような変化が起こっているのか調べる。 - 原子が電気を帯びるものはない。どのような状態か調べる。 - 電解質の水溶液やアルカリ性の水溶液には、それぞれどのような性質があるか調べる。 - 酸性やアルカリ性の水溶液には、それぞれ何が共通して存在しているのか調べる。 - 酸の水溶液とアルカリの水溶液を加えていくと、どのような変化が起きるのか調べる。 - どのような金属が電解質の水溶液の電解を起すのか調べる。 - 電解質の水溶液に電流が流れるとき、どのような変化が起きるのか調べる。 - 金属によって陽イオンへのなりやすさに違いがあるのか調べる。 - ガリウム電池のような陽極と陰極とをもち出した電流を調べる。 - 金属の電解質の水溶液はどのような状態か調べる。 - 金属の電解質の水溶液はどのような状態か調べる。	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子・分子のレベルでイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、酸・アルカリ、中和反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけながらその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけながらその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけながらその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 水溶液とイオンに関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 水溶液とイオンに関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 化学変化と電池に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	- 行動観察 - 発言分析 - 記述分析 - 定期考査 - ワークシート - 提出物	30
	単元2 生命の連続性	- 生物が成長するとき、細胞はどのように変化しているのか調べる。 - 有性生殖は、どのような仕組みで起こるのか調べる。 - 無性生殖は、どのような仕組みで起こるのか調べる。 - 植物が光合成を行うとき、どのような条件が必要なのか調べる。 - 動物が呼吸を行うとき、どのような条件が必要なのか調べる。 - 遺伝子は、どのようにして子孫に受け継がれるのか調べる。 - 遺伝子とDNAに関する研究結果は、どのように利用されているのか調べる。 11月11日の遺伝子とセキツイ動物の5つのグループの特徴を比較して比較すると、どのような違いがあるのか調べる。 - 地球上で生活するセキツイ動物はどのように進化してきたのか調べる。 - 進化の過程は、どのようなものがあるのか調べる。 - 進化と地球上の生物の多様性とは、どのような関係があるのか調べる。	生物の成長とふえ方に関する事象・現象の特性に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 生物の成長とふえ方に関する事象・現象の特性に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 生物の成長とふえ方に関する事象・現象の特性に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特性や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特性や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特性や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 生物の成長とふえ方に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 生物の成長とふえ方に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 生物の成長とふえ方に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	- 行動観察 - 発言分析 - 記述分析 - 定期考査 - ワークシート - 提出物	26
	単元3 運動とエネルギー	- 水面上で移動する物体の運動を記録シミュレーションで確認する。 - 物体の運動の速さの変化を調べると、どのような関係があるのか調べる。 - 物体がだんだん速くなる運動は、力によってどのように起こるのか調べる。 1つの物体は、ある角度をもった力がかかることで、どのように動き出すのか調べる。 - 力がはたらく方向によって、物体はどのように動くのか調べる。 - ある物体が別の物体に力を加えると、2つの物体の間でどのような力がおこるのか調べる。 - 水中の物体にはたらく上向きと下向きの力の大きさは、物体の何に関係があるのか調べる。 - エネルギーとは、どのような状態にあるのか調べる。 - 運動する物体の運動エネルギーと位置エネルギーとは、どのような関係があるのか調べる。 - 仕事とエネルギーとは、どのような関係があるのか調べる。 - 仕事とエネルギーとは、どのような関係があるのか調べる。 - 仕事とエネルギーとは、どのような関係があるのか調べる。 - 仕事とエネルギーとは、どのような関係があるのか調べる。 - 仕事とエネルギーとは、どのような関係があるのか調べる。	運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さや向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さや向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さや向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 運動の規則性に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 運動の規則性に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 運動の規則性に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	- 行動観察 - 発言分析 - 記述分析 - 定期考査 - ワークシート - 提出物	30
後期	単元4 地球と宇宙	- 太陽の表面は、どのように見えているのか調べる。 - 太陽は、1日どのように動いて見えるのか調べる。 - また、その理由を調べる。 - 地球上の方位と時刻は、どのように決まれているのか調べる。 - 地球の自転と1日の動きは、どのような関係があるのか調べる。 - 観望所に見られる星座は、1年を通してどのように移り変わるのか調べる。 - 季節による星座の動きは、どのようにして生じるのか調べる。 - 月が満ち欠けを繰り返すのはなぜか調べる。 - 月食や日食は、どのようにして起こるのか調べる。 - 金星が満ち欠けして見えるのはなぜか調べる。 - 太陽系の天体にはどのようなものがあり、どのような特徴をもっているのか調べる。 - 私たちは、宇宙のなかのどこにいるのか調べる。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	月や太陽、金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と金星についての特性や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 月や太陽、金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と金星についての特性や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 月や太陽、金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と金星についての特性や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 太陽系と金星に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 太陽系と金星に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 太陽系と金星に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	- 行動観察 - 発言分析 - 記述分析 - 定期考査 - ワークシート - 提出物	25
	単元5 地球と私たちの未来のために	- 生態系では、生物どうしの間にどのような関係が見られるのか調べる。 - 生態系において、それぞれの生物はどのような役割を担っているのか調べる。 - 生物のからだをつくる要素は、食物連鎖のなかでどのように循環しているのか調べる。 - 生物と自然環境はどのように関わっているのか、身近な自然環境を調査して調べる。 - 自然環境は人間の活動にどのような影響をあたえているのか調べる。 - 自然環境を保全するためにどのような活動が行われているのか調べる。 - 昔と比べて、変わってきた素材や製品にはどのようなものがあり、また、なぜ変わってきたのか調べる。 - 今後、エネルギー資源をどう利用していけばよいのか調べる。 - 科学技術を利用するとは、私たちの未来をどのように変えることになるのか調べる。 - 自分たちの住む地域では、どのような災害が起こるおそれがあるのか調べる。 30年後の社会のために、私たちは社会にどのような役割を担うべきか調べる。	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の保全と生態系についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の保全と生態系についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の保全と生態系についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物と環境について、身近な自然環境を調べながら観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 生物と環境について、身近な自然環境を調べながら観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 生物と環境について、身近な自然環境を調べながら観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 生物と環境に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 生物と環境に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 生物と環境に関する事象・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	- 行動観察 - 発言分析 - 記述分析 - 定期考査 - ワークシート - 提出物	15
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別評価規準			A: 教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上 B: 教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満 C: 教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満				
評価の基準			5: 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの……90%以上の達成率である場合 4: 十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3: おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合 2: 努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1: 一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合				

学期	題材	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	【創作】（歌唱）自分・自分たちの主張を語る・歌おう	●日本語の特性を理解し、日本語を曲にのせて効果的に伝える創作表現を工夫する。	【知】日本語の特性を生かした曲へののせ方について理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	日本語のリズムや語感を知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもってしている。	日本語の特性やリズム、語感に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	5
	【歌唱】曲の構造と歌詞及び曲の背景との関わりを理解して歌おう：「花」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、強弱を知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	2
	【歌唱】いろいろな歌に挑戦しよう：「Amazing Grace」	●声の音色や響き及び言葉の特性と曲理に合った発声との関わりについて理解するとともに、それを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	【知】声の音色や響き及び言葉の特性と曲理に合った発声との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律を知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。	声の音色や響き及び言葉の特性と曲理に合った発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【音楽】楽法や構成を工夫して演奏しよう：「海の見える街」	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	【知】曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、旋律、テクニカルを知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【創作】コード伴奏を工夫しよう・コードを手がかりに音楽をつくろう	●音の運びやつながり方を工夫して、コードに合う旋律をつくる。	音階の特徴及び音のつながり方の特徴について、熟したイメージと関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	リズム、旋律、構成を知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。	音階の特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・作品 ・定期考査	3
	【音楽】バンドのような編成で演奏を楽しもう	●楽曲の特徴を理解し、楽器や伴奏型を工夫して演奏する。	器楽 【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	器楽 リズム、テクニカルを知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。	器楽 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
後期	【鑑賞】我が国及び西洋の音楽のよさを味わおう	●諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	【知】曲想と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクニカルを知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	4
	【音楽】楽器の音色や奏法を生かして、和楽器を演奏しよう	●楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解し、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	【知】楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	音色、旋律、テクニカルを知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽・歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。	楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	5
	【鑑賞】音楽を通して他国とつながろう：いろいろな等音楽、いろいろな総合芸術	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【歌唱】全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう：「春」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律、テクニカル、強弱を知識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
評価の重み付け			83%	33%	33%	時数計	35
観点別評価規準		A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率90%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率60%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満					
評価の基準		5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも……90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの……60%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合					

学期	題材	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	わたしを描く	体の部分を観察し、様々な画材でデッサンする。	・形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、身近な身体を全体のイメージで捉えることを理解している。 ・自分のあらわしたいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。	身近な身体を見つめ、感じ取った特徴や、自分の思いなどをともに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本や海外の文化の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・作品	2
	海を越えた文化交流 —仏像鑑賞—	仏像を鑑賞し、日本の文化や海外との文化交流を感じ取り、見方、感じ方を深める。	・形や色などが感情にもたらす効果や、材質などの造形的な特徴をもとに、仏像や日本の美術文化を海外との文化交流として捉えることを理解している。	日本の仏像や海外の仏像の造形的なよさや美しさを感じ取り、それぞれの表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の文化や海外の文化の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・鑑賞ワークシート ・定期考査	6
	わたしを表す —MY world制作—	自分自身の興味関心から、主題を生み出す。主題をもとに、意図に応じて工夫してあらわす。	・色や材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、あらわされた作品を全体のイメージで捉えることを理解している。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的にあらわしている。	構成の目的や条件などをもとに、自分のあらわしたいものから主題を生み出し、美的感覚を働かせて、斬新で調和のとれた美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分のあらわしたいものなどをもとに発想し、創造する表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	8
	メッセージを伝える —ポスター制作— (夏季休業中課題)	ポスターなどのメッセージを広く伝えるデザインに関心をもち、目的や内容などから主題を生み出す。主題をもとに、意図に応じて工夫してあらわす。	・形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、効果的な伝達のデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的にあらわしている。	メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出し、絵や文字などの組み合わせの効果や、わかりやすさや美しさの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人にメッセージが伝わるように工夫してデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	1
後期	わたしを表す —MY world制作—	自分自身の興味関心から、主題を生み出す。主題をもとに、意図に応じて工夫してあらわす。	・色や材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、あらわされた作品を全体のイメージで捉えることを理解している。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的にあらわしている。	構成の目的や条件などをもとに、自分のあらわしたいものから主題を生み出し、美的感覚を働かせて、斬新で調和のとれた美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分のあらわしたいものなどをもとに発想し、創造する表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	10
	美術の鑑賞を学ぶ —美術史—	美術史の学習を通して、それぞれの時代の下や流れなどを学び、鑑賞や表現に生かしている。	それぞれの時代の作品が感情にもたらす効果やイメージを知り、自分の表現や鑑賞に生かそうとしている。		美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に美術史や日本の美術、海外の美術の表現の意図や工夫を感じ取る学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	2
	みんなのためのデザイン —デザイン制作—	使いやすさや安全性に優れた製品のデザインに関心をもち、多くの人のための使いやすさや安全性を考えることで主題を生み出す。	・形や色、材料などが使う人にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、多くの人が使いやすいデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもってあらわしている。	日用品を調べるなどして、多くの人のための使いやすさや安全性を考えることで主題を生み出し、使いやすさや安全性、機能と美しさの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人が使いやすい形や材料について考え、工夫してあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	6
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別評価規準		A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満					
評価の基準		5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの……90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合					

令和7年度 年間指導・評価計画（保健体育科）第9学年

学 期	単 元	学習の内容	評 価 規 準			評価方法	時 数	
			知識・技能（運動）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
前 期	通年 ※つくり運動	種目の特性に応じた体ほぐし運動・ 体力を高める運動に取り組む	【知識】 ・体つくり運動の意義、 体の構造、運動の原則な どを理解している。	【技能】 ・目的に適した運動の計 画を立て取り組むことが できる。	・自己や仲間の課題を発見 し合理的な解決に向けての 運動の取り組み方を工夫す るとともに、自己や仲間の 考えたことを他者に伝える ことができる。	・体つくり運動の学習に自主的に 取り組むことができる。 ・一人一人の違いに応じた課題や 挑戦を大切にしようすることが できる。 ・健康安全を確保することができ る。	授業観察 学習カード 定期考査	6
	陸上競技	短距離走・リレー スタート技術と中間疾走 クラウチングスタート	・技術の名称や行い方、 体力の高め方、運動の観 察の方法などについて理 解している。	・中間走へのつながりを滑 らかにして速く走ること ができる。 ・バトンの受け渡しで次 走者のスピードを十分高 めることができる。	・動きなどの自己や仲間の 課題を発見し、合理的な解 決に向けて運動の組み 方を工夫するとともに、自己の考 えたことを他者に伝えることが できる。	・陸上競技に自主的に取り組むこ とができるとともに勝敗などを冷 静に受け止め、ルールやマナーを 大切にすることができる。 ・一人一人の違いに応じた課題や 挑戦を大切にしようすることが できる。 ・健康安全を確保することができ る。	授業観察 学習カード 定期考査	8
	器械運動 [マット運動]	回転系（滾転技群・ほん転技群） 巧技系（平均立ち技群）	・器械運動の特性や成り 立ち、技の名称や行い方 、関連して高める体力に ついて理解している。	・回転系や巧技系の技を滑 らかに行い、条件を変 えた技や発展技を行うこ と及びそれらも組み合わ せることができる。	・技などの自己の課題を発 見し、合理的な解決に向 けて運動の取り組み方を工夫 するとともに、自己の考 えたことを他者に伝えることが できる。	・マット運動に積極的に取り組 み、よい演技を認めようとするこ とができる。 ・仲間の学習を援助し、一人一 人に応じた課題や挑戦を認めよう とすることができる。	授業観察 学習カード 定期考査	7
	陸上競技	ハードル走 走り幅跳び 走り高跳び	・技術の名称や行い方、 体力の高め方、運動の観 察の方法などについて理 解している。	・スピードを維持した走 りからハードルを低く越 すことができる。 ・走り幅跳びではスピー ドに乗った助走から力強く 踏み切って跳ぶことが できる。 ・走り高跳びではリズム カルな助走から力強く 踏み切り、滑らかな空間動 作で跳ぶことができる。	・動きなどの自己や仲間の 課題を発見し、合理的な解 決に向けて運動の組み 方を工夫するとともに、自己の考 えたことを他者に伝えることが できる。	・陸上競技に自主的に取り組むこ とができるとともに勝敗などを冷 静に受け止め、ルールやマナーを 大切にすることができる。 ・一人一人の違いに応じた課題や 挑戦を大切にしようすることが できる。 ・健康安全を確保することができ る。	授業観察 学習カード 定期考査	10
	バスケットボール ハンドボール (どちらか1つ)	個人技能・戦術 （シュート・パス・ディフェンス） チーム戦術 （オフェンス・ディフェンス） 試合・審判法	・技術の名称や行い方、 体力の高め方、運動の観 察の方法などについて理 解している。	・安定したボール操作と 空間を作り出すなどの動 きによってゴール前への 侵入などから攻防を展開 することができる。	・攻防などの自己やチームの 課題を発見し、合理的な解 決に向けて運動の組み 方を工夫するとともに、自己 や仲間の考えたことを他者 に伝えることができる。	・球技に自主的に取り組みフェア な プレイを大切にすることができる。 ・作戦等の話し合いに貢献しよう とすることができる。 ・互いに助け合い教え合おうと することができる。 ・健康安全を確保することができ る。	授業観察 学習カード 定期考査	9
期	保健 (男女別)	健康な生活と疾病の予防 感染症の予防 健康を守る社会の取組	・病原体が主な原因となって発生する感染症につい て理解している。 ・発生源、感染経路、主体への対策による感染症の 予防について理解している。 ・個人の健康と社会的な取組との関わりについて理解 している。 ・健康の保持増進や疾病予防の役割を担っている。 保健医療機関とその利用について理解している。 ・医薬品の正しい使用について理解している。		・健康についての自他の課 題を発見し、よりよい解決 に向けて思考し判断すると ともに、他者に伝えること ができる。		授業観察 ノート 定期考査	7
	体育理論	文化としてのスポーツの意義 現代生活におけるスポーツの文化的意義 国際的なスポーツ大会などが果た す文化的な意義や役割 人々を結びつけるスポーツの文化的働き	・文化としてのスポーツ の意義について理解して いる。	・文化としてのスポーツの 意義について、自己の課題 を発見し、よりよい解決に 向けて思考し判断するとと もに、他者に伝えることが できる。	・文化としてのスポーツの 意義についての学習に積極的 に取り組むことができる。	授業観察 ノート 定期考査	8	

後 期	ソフトボール バレーボール (2種1つ)	個人技能 バット操作【ソフトボール】 (振り・テイクバック・インパクト) ボール操作【バレーボール】 (パス・スパイク・サーブ・ブロック) チーム戦術 試合・審判法	・技術の名称や行い方、 体力の高め方、運動の観 察の方法などについて理 解している。	・安定したバット操作と 走塁での攻撃、ボール操 作と連携した守備などに よって攻守をすることが できる。【ソフトボール】 ・役割に応じたボール操 作や安定した用具の操作 と連携した動きによって 空いた場所をめぐる攻守 をすることができる。 【バレーボール】	・攻守などの自己やチームの 課題を発見し、合理的な解 決に向けて運動の取り組み を工夫するとともに、自己 や仲間の考えたことを他者 に伝えることができる。	・球技に自主的に取り組みフエ アな プレイを大切にすることができ る。 ・作戦等の話し合いに貢献しよ うとすることができる。 ・互いに助け合い教え合おうと することができる。 ・健康安全を確保することができ る。	授業観察 学習カード 定期考査	8
	陸上競技	長距離 短距離走 リレー バトンの受け渡し	・技術の名称や行い方、 体力の高め方、運動の観 察の方法などについて理 解している。	・自己のスピードを維持 できるフォームでペース を守りながら一定の距離 を走り通し、タイムを短 縮することができる。	・動きなどの自己や仲間の 課題を発見し、合理的な解 決に向けて運動の取り組み 方を工夫することができる とともに、自己の考えたこ とを他者に伝えることがで きる。	・陸上競技に自主的に取り組むこ とができるとともに勝敗などを冷 静に受け止め、ルールやマナーを 大切にすることができる。 ・一人一人の違いに応じた課題や 挑戦を大切にしようとするこ とができる。 ・健康安全を確保することができ る。	授業観察 学習カード 定期考査	7
	武道	柔道 礼法・基本動作 受け身 固め技・投げ技	・伝統的な考え方、技の名 称や見取り稽古の仕方、 体力の高め方などについ て理解している。	・相手の動きの変化に応 じた基本動作や基本とな る技、道徳性を用いて、相 手を投げたり、抑えたりす るなどの攻守を展開する ことができる。	・攻守などの自己や仲間の課 題を発見し、合理的な解決 に向けて運動の取り組みを 工夫するとともに、自己や 仲間の考えたことを他者に 伝えることができる。	・相手を尊重し、伝統的な行動の仕 方を大切にすることができる。 ・一人一人の違いに応じた課題や 挑戦を大切にしようとするこ とができる。 ・健康安全を確保することができ る。	授業観察 学習カード 定期考査	7
	水泳 (男女別)	泳法 クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ スタート及びターン	・水泳の特性や成り立ち 、関連して高まる体力に ついて理解している。 ・技術の名称や行い方を 理解している。 ・ルールを理解している	・各泳法で手と足の動作 と呼吸のタイミングを合 わせて泳ぐことができる ・水中でプールの壁を蹴 り抵抗の少ない流線型の 姿勢で浮き上がりのため のキックを用いて速い速 度で泳ぎ始めることがで きる。・回転系や巧技系の 技を滑らかに引き、条件を 変えた技や発展技を行う こと及びそれらを組み合 わせることができる	・泳法などの自己の課題を 発見し、合理的な解決に向 けて運動の取り組み方を工 夫することができる。 ・自己や仲間の考えたこ とを他者に伝えることがで きる。	・水泳に積極的に取り組むことが できるとともに勝敗などを認めル ールやマナーを守ろうとすること ができる。 ・水泳の事故防止に関する心得を 遵守し、健康安全に気を配ること ができる。	授業観察 学習カード 定期考査	10
	バスケットボール ハンドボール サッカー (どれか1つ)	個人技能・戦術 (シュート・パス・ディフェンス) チーム戦術 (オフェンス・ディフェンス) 試合・審判法	・球技の特性や成り立ち 、関連して高まる体力 について理解している ・技術の名称や行い方を 理解している。 ・ルールを理解している	・安定したボール操作で 一定の時間内に得点する ことができる。 ・空間に仲間と連携した 動きで走り込み、ゴール 裏での攻守を展開するこ とができる。	・攻守などの自己の課題を発見 し、合理的な解決に向け て運動の取り組みを工夫する とともに、自己や仲間の考 えたことを他者に伝えるこ とができる。	・球技に積極的に取り組み、フエ アなプレイを守ることができ る。 ・作戦等の話し合いに積極的に参 加することができる。 ・分担した役割を果たそうとす ることができる。	授業観察 学習カード 定期考査	8
	保健 (男女別)	健康と環境 身体の健康に対する適応能力・至適範囲 飲料水や空気の衛生的管理 生活に伴う廃棄物の衛生的管理	・身体の適応能力を超えた環境の健康への影響につ いて理解している ・快適で能率のよい生活ができる環境の範囲につ いて理解している ・健康と飲料水や空気の密接な関わり、基準に適合 した管理について理解している ・生活によって生じた廃棄物の衛生的な処理の必要 性について理解している	・健康と環境に関する情報か ら課題を発見し、その解決 に向けて思考し、判断する とともに、それらを表現 することができる	・健康と環境について自分事として 捉え、学習に積極的に取り組むこ とができる。	授業観察 ノート 定期考査	7	
評価の重み付け			3 3 %	3 3 %	3 3 %			
観点別評価規準		A：教科の目標に照らして十分満足と判断されるもの・・・達成率80%以上 B：教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの・・・達成率50%以上80%未満 C：教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの・・・達成率50%未満						
評価の基準		5：十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの・・・90%以上の達成率である場合 4：十分満足できると判断されるもの・・・80%以上90%未満の達成率である場合 3：おおむね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成率である場合 2：努力を要すると判断されるもの・・・20%以上50%未満の達成率である場合 1：一層努力を要すると判断されるもの・・・20%未満の達成率である場合						

令和7年度 年間指導・評価計画（技術科）第9学年

学期	単元	学習の内容	評価基準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	情報に関する技術	プログラムによる計測・制御 1) 生活の中にある制御 2) 計測・制御システム 3) 処理の手順とプログラム 4) プログラムによる制御 5) 初歩の電子掲示板プログラムの作成 ・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知ることができる。 ・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムを作成することができる。	・計測・制御システムにおける構成やその中のプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。 ・フローチャート（流れ図）について理解している。 ・設計に基づき、簡単な計測・制御のプログラムを作成できる	・計測・制御の目的や条件を明確にし、情報処理の手順を変更した場合の効果を比較・検討したうえで、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	・新しい発想を生み出し活用している。 ・利用者の立場に立ってプログラムを作成しようとしている。	提出物 授業に 取り組む 姿勢 定期考査 制作物 （プログラム）	10

後 期	生 物 育 成 に 関 す る 技 術	1)生物育成とは 2)作物や家畜などの特性と生物育成技術 3)生物育成のライフサイクル 4)土づくり、肥料 5)種まき、育苗と植え付け 6)定植後の管理 7)収穫の方法と保存、収穫後の管理 8)栽培計画	・光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。 ・計画に基づき、適正な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。	・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的および経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討したうえで、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。	・生物育成に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、経済的側面などから比較・検討しようとするともに適切な解決策を示そうとしている。	提出物 授業に 取り組む 姿勢 定期考査 実技 (栽培)	4
	情 報 に 関 す る 技 術	情報通信ネットワークの活用 1)利用するときのモラル 2)発信するときのモラル 3)人権や個人情報の保護 4)知的財産の保護 ・手順に沿って課題を制作する 1)テーマと構造の設計 2)素材の準備 3)素材の統合 4)評価修正	・著作権や情報モラルについて理解している ・適切なソフトウェアを用いて多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。 ・問題点を見つけ、より適切な表現に修正することができる。 ・基本操作、図の挿入などの設定ができる。	デジタル作品の使用目的や使用条件を明確にし、適切なソフトウェアを選択した上でソフトウェアの機能を活用している。	・目的に応じてソフトウェアの機能を工夫し、より良い作品を制作しようとしている	提出物 授業に 取り組む 姿勢 定期考査 制作物	4
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別評価規準		A：教科の目標に照らして十分満足と判断されるもの・・・達成率80%以上 B：教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの・・・達成率50%以上80%未満 C：教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの・・・達成率50%未満					
評価の基準		5：十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもので・・・90%以上の達成率である場合 4：十分満足できると判断されるもの・・・80%以上90%未満の達成率である場合 3：おおむね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成率である場合 2：努力を要すると判断されるもの・・・20%以上50%未満の達成率である場合 1：一層努力を要すると判断されるもの・・・20%未満の達成率である場合					

令和7年度 年間指導・評価計画（家庭科）第9学年

学期	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	家族と家族関係 幼児の生活	幼い頃の自分について知り、心身の発達について理解している。 幼児の発達に合ったおもちゃの製作ができる。	幼児の生活に課題を設定し解決策を構想している。	幼児の生活や発達について主体的に取り組もうとしている。	提出物 作品 テスト	10
後期	幼児の生活と遊び 幼児と触れ合おう 子どもの育つ場のつながり	幼児の生活習慣、遊びについて理解している。 幼児の発達に合ったおもちゃの施策ができる。 子どもの環境や施設、法律を理解している。	作品をよりよくするために解決策を構想している。 幼児のよりよい生活について解決策を構想している。	作品の製作に必要な技能の習得に主体的に取り組もうとしている。 幼児を取り巻く環境について主体的に学習に取り組もうとしている。	提出物 テスト 作品	8
						18
評価の重み付け		33%	33%	33%		
観点別評価規準		A: 教科の目標に照らして十分満足と判断されるもの・・・達成率80%以上 B: 教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの・・・達成率50%以上80%未満 C: 教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの・・・達成率50%未満				
評価の基準		5: 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも・・・90%以上の達成率である場合 4: 十分満足できると判断されるもの・・・80%以上90%未満の達成率である場合 3: おおむね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成率である場合 2: 努力を要すると判断されるもの・・・20%以上50%未満の達成率である場合 1: 一層努力を要すると判断されるもの・・・20%未満の達成率である場合				